

「三重県 心のノート」活用事例

校種	小学校	学年	6年	内容項目	4－(7)
主題名	目標に向かって				
資料名	たゆまぬ努力で困難をのりこえる 本居宣長 「三重県 心のノート 小学校5・6年」(三重県教育委員会)				
ねらい	郷土や国を愛する心を育てる。 本居宣長の偉業を通して、目標に向かって生きることの大切さを知る。				
展開	学習活動と主な発問			指導上の要点	
	<ol style="list-style-type: none"> 江戸時代どのような学問が盛んであったかを確認する。 国学について知る。 (発問) 国学とはどのような学問だろうか。 国学者本居宣長の業績を読む。 ①源氏物語の評価を上げた人である。 ②古事記を追求し35年にわたって研究続けた。 感想を書く。 			<ul style="list-style-type: none"> 儒学・国学が盛んになったことを歴史背景とともに伝える。 「もののあはれ」という意味について知らせる。 国学者賀茂真淵との関係についても知らせる。 	
他の教育活動との関連	社会科の歴史学習で、さらに国学が政治思想と結びついて明治維新へとつながることを学習する。				
成果と課題	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 6年生社会科の学習の流れの中で取り入れたことにより、歴史的背景を踏まえた学習ができた。 時代は異なっても、人の生き方について学ぶべきものがあることを伝える教材であり、児童の感想にあるように、今の子どもたちにも生き方を示唆する内容であった。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史的にも複雑なところであり、NHKのクリップなども入れながら説明したので補助的な教材も必要であると感じた。 <p><主な児童の感想や様子等></p> <ul style="list-style-type: none"> 35年間も研究を続けるなんてすごく根気があるなあと思いました。ぼくだったらそんなことできません。 人との出会いで一生をかけるものができるんだなあと思いました。 三重県の人でこんなに有名な人がいるなんて知らなかったです。ちょっと嬉しく思いました。 三重県出身の人でこのように学術に人生を費やした人がいることに子どもたちは 				

驚いていた。

- ・ 特に35年もの歳月をかけて学問を追究したことに感心していた。
- ・ 源氏物語の再評価をしたところは、物事にいろいろな見方があることがわかったようである。
- ・ 賀茂真淵との師弟関係もたった一日の出会いがその後の本居宣長の人生を大きく揺るがすことになることに子どもたちは人との出会いの大切さを実感したようであった。